

株式会社あしたのチーム 「中小企業社員300人に聞いた“ウチの社長”調査」結果

調査対象	全国の従業員10人以上300人未満の中小企業で働く20代～40代の社員
調査方法	インターネット調査
有効回答数	300人
調査時期	2024年3月8日～3月9日

今回は、大企業に比べ、会社のトップである社長との距離が比較的近いと考えられる中小企業の従業員を対象にした調査から、日頃感じている“ウチの社長”に対する意識についてみてみたい。

「社長の考えは古い」と感じるものが「よくある」
……………22.3%

本調査の対象は、「勤務年数1年以上で、社長と月1回以上直接話すことがある従業員」という付帯条件がついている。社長と日常的に何らかの接点があり、コミュニケーションをとっている従業員の、社長に対する意識が結果に反映されている。

そんな従業員にとって、“社長の考えは古い”と思っている人は意外に多い。「社長の考えが古いと感じることがあるか」という質問に対して、「よくある」と回答した従業員は22.3%となっており、「たまにある」の42.3%と合わせると64.6%に上ることがわかった。

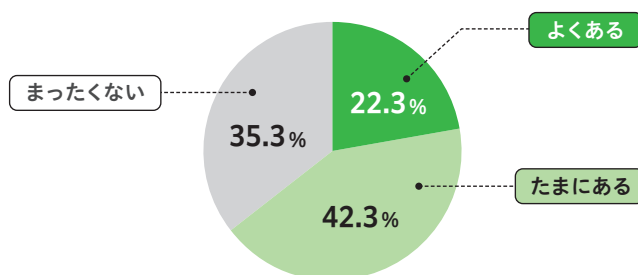
社長にアップデートして欲しいのは「労働に関する価値観・考え方」……26.3%

「社長の考えが古い」と感じた人に対して社長にアップデートして欲しい点について聞いたところ、「労働に関する価値観・考え方」が26.3%で最も多く、以下「社長自身の言動」「自らを客観視

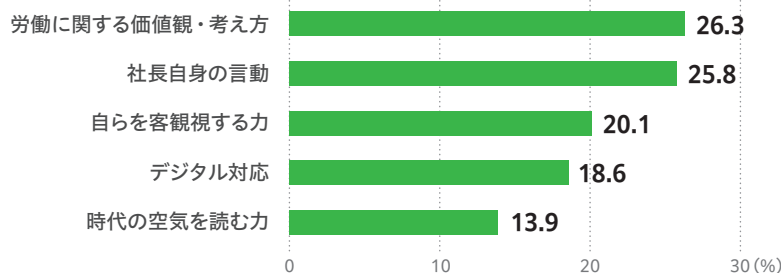
“ウチの社長”の考えは古いと感じている従業員は

64.6%

社長の考えが古いと感じることはあるか (n=300)



社長にアップデートして欲しいこと 【複数回答、上位5位まで (n=194)】



する力」「デジタル対応」「時代の空気を読む力」等が続いている。

働き方の多様化やデジタルへの対応をはじめ、先の見通せないこの時代に求められる会社の方向性や経営者としての在り方など、社長にアップデートして欲しい点は、いままさに中小企業が直面し

ている課題であることがわかる。

裏を返せば、いまの時代にあった会社にして欲しいという従業員の意識そのものといえる。そういう意味で“ウチの社長”への思いや期待は大きい。

(インテリジェンスバリューコーポレーション株式会社 岩村克俊) ▲